

## 図書館のように

教務委員長 安陪等思

本を読みたい人が集まる場であるのがその成り立ちであろうが、子どもの頃から何かしらの秘密があり、甘酸っぱい解決法が本の匂いの中にあるような所であった。医学図書館と言う性質上、私がここで主に利用させていただいたこととしては文献検索とコピー、学生時代の勉強の場であった。今あらためて図書館を教務委員長の立場から見ると羨望の感を持つ。

### ・図書館のように整然とありたい

体が本でできている絵で表されることもある司書も配置されている。本を愛する人が本や資料について収集、整理、保管、提供、参考調査などのサービスを行う専門の職員が管理運営している。自分で勝手に取り出した本をカウンターに返せば片付けてもらえる何て、思っただけなら夢のようなことである。個人が自分の周りを片付けることすら容易でないのに、ましてや教室などの大人数で利用する所などは如何にである。単に掃除されているのではなく整然として美しい。そんなシミュレーションセンターを作りたい。

### ・図書館のように静かでありたい

周りの人の迷惑にならないように静かにできる。多くの人がいっても静寂が保たれる。本の無機質な暖かみと人の体温によって出来上がる心地よい空間が嬉しい。誰をも受け入れてくれる環境が有り難い。分からないことを尋ねるのに小さな声で話ができるところが無言の行をしているわけではないという救いも与えてくれる。この様な雰囲気を持つ学習室を継続していきたい。

### ・図書館のように自由でありたい

図書館内では常識的なルールを守ると、何をどう読もうが自由である。考えているふりしようが、寝てしまおうがなんのお咎めもない。何時来ようが、いつ帰ろうが自分勝手である。自分で本を持ち込んでもよし、書き物をするのも構わない。そこにあるのは意志と若干の思いやりである。そんな自分を図書館はやさしく守ってくれる。そんな生き方ができる学生を育てたい。そんな雰囲気の教室を作りたい。